

平成30年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座	国際比較経済、経営学
プログラム	東アジア中核人材育成
専門科目	経営学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 組織構造論に関する諸議論について以下の(1)と(2)を解答しなさい。

(1) 組織の機械観と組織の有機体観について説明しなさい。ただし、解答に際して「官僚制組織論」と「初期人間関係論」の用語を、それぞれ必ず1回以上使用しなさい。

(2) コンティンジェンシー理論について説明しなさい。ただし、解答に際して「環境学派」と「技術学派」の用語を、それぞれ必ず1回以上使用しなさい。

問2 次ページ以降の文章を読み、下記の(1)と(2)を解答しなさい。

(1) 下線部①について、知の近視眼化がなぜ問題かを、例を示しながら、説明しなさい。

(2) 下線部②について、どのようにすれば、組織として「知の探索」と「知の深化」をバランスよく進めることができるかを、論じなさい。

(中略)

(以下略)

(出典) 入山章栄 (2012) 『世界の経営学者はいま何を考えているのか—知られざるビジネスの知のフロンティア』英治出版、136-140 ページ、一部省略改変。

以上